

KiKiの広場

2020年 2月 1日
cafe NO.112
KiKi



今年は4年に一度のうるう年、今月は29日までありますね。しかし残念ながら、「絵本カフェ KiKi」は、2月からしばらく休業します。それは4月からの「ヒストリア宇部」を運営する指定管理者が、未だに決まっていないことにあります。正式決定は、3月の市議会定例会においてです。もしも現在の「タグボート」から他の事業者さんへ変更になることが決まりましたら、3月末までに「引き継ぎ・引き渡し」を行わないと、4月からのスタートに間に合わないこととなります。私たちとしては、市民のみなさま、ご利用予定の方々に、これ以上のご迷惑をおかけできませんので、交代の場合を想定し、2月からその準備に取り掛かります。

殆ど毎日のようにカフェに足を運んでくださっていた常連のみなさまは、「これからどこにいけばいいの?」「何をして過ごそうか?」と、嘆いておられました。本当に申し訳ない思いでいっぱいです。

今後どうなるかわかりませんが、今できることを精一杯頑張っていくしかありません。ご迷惑をおかけしますが、どうかご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



今月のお気に入り・・・「寒い時期だからこそ、読みたい絵本 Part2」

～「みかんのひみつ」「だるまちゃんとうさぎちゃん」「ふゆのはなし」「ゆきのひ」「スノーマン」「雪の日のたんじょう日」など～



私たち世代にとって、みかんと言えばこたつのお供。中学生の頃、みかん大好きな友だちの手が、まっ黄、黄になっていて、どんだけみかんが好きなのかと思ったものでした。(^^) 果物の中でもとても身近なみかんですが、知らないことがいっぱいあることに気付かせてもらえます。まさしく「みかんのひみつ」を教えてもらえる絵本です。「だるまちゃんとうさぎちゃん」は、どっ

さり雪が降った日に、だるまちゃんとうさぎちゃんが一緒に遊ぶお話ですが、「丹下左膳」や「座頭市」が出てくるだけでなく、手袋の指人形や新聞で作る帽子など、昭和感たっぷりの絵本です。



今月の本棚・・・「節分&鬼の絵本」

～「まめのかぞえうた」「おにのパンツ」「おにのくび」「しょうとのおにたいじ」「鬼」「おなかのなかにおにかいる」などなど～

「まめのかぞえうた」は、大豆の成長をととてもシンプルにわかりやすく描いた本です。日本料理には欠かせない大豆ですが、ドイツでは「畑の肉」、アメリカでは「大地の黄金」とも呼ばれ、近年世界的にも「ミラクルフード」として脚光を浴びているそうです。出てくる豆1つ1つに顔があり、見ても読んでも楽しい絵本です。「おにのパンツ」は、歌絵本です。誰もが一度は口にした

ことがあるのではないのでしょうか。長谷川義史さんの絵が歌詞とぴったり合っていて、とにかく愉快で思わず笑ってしまいます。「みんなではこう おにのパンツ」の次の最後の「へい!」のページにはびっくり!! すごいものが、おにのパンツをはいています。



ほっとフレイク

Mちゃんその2・・・先月号で紹介した90ウン歳の「Mちゃん」のお話です。毎日のように KiKi に来てくださっていました。私がカフェに出た日、「あなたとゆっくりお話がしてみたかったのよ。」と声をかけてくださって、「一緒にお茶しましょ。」と私の目の前の席に座られました。お話を聞いてみると、なんと旧山口銀行にお勤めされていたことがあったそうです。「随分前だけどね、懐かしいわ。」とおっしゃっていました。話していくうちに、いつの間にか私は、「お嬢ちゃん」と呼ばれていました。孫もいる私を「お嬢ちゃん」と呼んでくださるのは、Mちゃんだけですが、30以上年が離れていれば、Mちゃんにとっては小さい子どもと一緒になのかもしれません。!(^^)! ウン十年ぶりに「お嬢ちゃん」と言われて、こそぐったいようなでもちょっぴり嬉しくて楽しいひと時でした。帰られる姿を見ていると、信号待ちをしている若者に声をかけ、空を指さして一緒に見上げたり、笑いながらお話をされていました。若者も腰をかがめてMちゃんの話の聞いてくれていました。Mちゃんの人柄が伝わってくるようなほのぼのと心が和む2人の姿でした。Mちゃんにまた会える日がくることを願っています。

